



名前

日付

月

日

答え合わせのポイント・・・自分に厳しく行おう😊

①答え合わせは色ペンで行うこと ②間違いはその場で訂正すること ③点数の記入は不要

例文中の傍線部を和訳しなさい

▼例文

- 1 101-1 花びらの端に美しい色がこころもとなくついているようだ。
- 2 110-1 別れた恋人を一目ゆかしくて、垣根越しに覗いてみる。
- 3 119-2 日が暮れても客人が長居をして帰ろうとしないのはむづかし。
- 4 104-1 子どもの将来を確かに見守ることをちぎり、手元に引き取った。
- 5 121-1 姫君のご結婚のいそぎ、父君はさまざまに心遣いをなさる。
- 6 116-1 男は下仕えの女と結婚しようとしたが、親はさらに許さず。
- 7 101-3 早く都に帰れる日がこころもとなく、日数を数えている。
- 8 140 顔形が美しく、性格も穏やかで、あらまほしき人である。
- 9 119-1 その姫君は化粧はうるさしと言って、まったくなさらない。
- 10 128 「ありつる人はいかがか」と、行きずりに助けた女の具合を問う。
- 11 117-1 世をそむき山林に入ったが、まだ恋人に心を残していてつらい。
- 12 143 人のよき点は勧め、あしき点は戒めるべきである。
- 13 111-1 父の教えにたがふとしても、自分の心のままに生きてみたい。
- 14 113-3 愚かな者が本当に賢い人に物を教えたりするのはさかしきことだ。
- 15 125-2 さかしだつ人は、自分の失敗は棚にあげて人に説教をする。
- 16 144 現世に思い残すことがあるまま往生するのはわろし。
- 17 103-1 幼少の頃から宮中でお育ちなので、自由がなくところせし。
- 18 120-2 妻に追い出される若い女を、男はらうたしと思う。
- 19 113-1 雷が落ちてきそうでみなこわく、さかしき人はひとりもいない。
- 20 122-1 決まりの悪さにうつむいたまま、去るに去れずずちなし。
- 21 109-1 この女は気が強く、意地の悪いところのものする人であった。
- 22 105-2 大将の突然の来訪に、大臣は「どこへ行くたよりか」と尋ねた。
- 23 122-3 女の暮らしぶりは、前にも増していふかひなく貧しい様子だ。
- 24 121-2 帝が石山寺へ参詣なさるので、沿道に花を植え仮屋をまうく。
- 25 109-2 天皇は病重く、お食事もわずかしかものしなさらない。

▼現代語訳

- 1 はっきりしない(かすかに)
- 2 見たくて
- 3 不愉快だ
- 4 約束し
- 5 準備
- 6 絶対にゆるさない
- 7 待ち遠しく
- 8 理想的な
- 9 煩わしい
- 10 先ほどの
- 11 出家をして
- 12 悪い
- 13 違う(背く・逆らう)
- 14 利口ぶる
- 15 利口ぶる・偉そうにしている
- 16 よくない
- 17 窮屈だ
- 18 かわいい
- 19 しっかりしている・気丈夫な
- 20 どうしようもない
- 21 ある
- 22 ついで・機会
- 23 どうしようもなく・言いようもないほど
- 24 準備する
- 25 食べる・口にする

- 26 125-1 さかしらする親が、息子の結婚に反対して女を外へ追い出す。
- 27 146 人のよき点は伸ばし、あしき点は改めるべきだ。
- 28 109-3 女房たちは牛車に乗って、祭り見物にものす。
- 29 102-1 喧嘩をしたきり夫の通いが無い。あっけないよのなかだと思う。
- 30 103-3 大臣のところせき姿をひと目見ようと、家々の人々が出てきて見る。
- 31 114-2 日々の寂しさを口にすることもあへぬほど短い訪問だった。
- 32 111-2 こちらの舟とあちらの舟が湖の上でたがひて行く。
- 33 117-3 不義密通を犯した罪悪感に耐えかねて、みぐしおろしなさる。
- 34 149 今日はひねもす波風が立たず、快適な船旅であった。
- 35 130-2 中將・少將はお出かけになり、さらぬ君たちは残られた。
- 36 150 よもすがらまどろみもせず、漢詩を作り明かした。
- 37 137 そこばくの蜂が盗人にくっついて、刺し殺してしまった。
- 38 110-2 鶯の鳴く声をゆかしと、梅の咲くのを心待ちにしている。
- 39 115 二人の仲を裂こうとしても、分けることのかたき心である。
- 40 130-1 この世の中にさらぬ別れというものがなければよいのに・・・。
- 41 122-2 去っていく恋人を見送りながら、せむかたなく泣き崩れる。
- 42 108-3 夫に捨てられた女を見て、人々は「いみじ」と涙ぐむ。
- 43 120-1 どんなものでも形の小さいものはすべてうつくし。
- 44 126 扇を探すか、部屋がまっ暗なので「いづらいづら」と手探りする。
- 45 101-2 久しく連絡がないので、約束はどうなったのかとこころもとなし。
- 46 116-3 成人したら結婚しようと約束したことをゆめ忘るなよ。
- 47 141 息いと苦しく、日に日に衰弱していく様子である。
- 48 113-2 さかしき人の占いでも娘を養女に出すべきだというので決心する。
- 49 123 夜の人の声は小さな囁きでもかしがましく聞こえる。
- 50 131 季節に合わせた着物の絵柄が庭の景色に溶けてつきづきし。

- 26 利口ぶる・出しゃばりな
- 27 よい
- 28 行く
- 29 男女の仲・夫婦の仲
- 30 威厳がある
- 31 できない
- 32 すれ違う・行き違う
- 33 出家する
- 34 一日中・終日
- 35 違う(その他の)
- 36 一晩中(徹夜で)
- 37 たくさん
- 38 聞きたい
- 39 できない
- 40 避けられない別れ(死別)
- 41 どうしようもなく
- 42 たいへん気の毒だ
- 43 かわいい
- 44 どこだどこだ
- 45 不安だ・気がかりだ
- 46 けっして忘れてはいけません
- 47 たいへん
- 48 賢い
- 49 やかましく
- 50 ふさわしい